特定非営利活動に係る事業会計活動計算書

自 平成30年 4月 1日　至 平成31年 3月31日

特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート　（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ経常収入			
事業　収入	120,605,800		
正会員会費収入	91,500		
補助金収入	2,084,000		
受取利息収入	82		
雑　収　入	11,420		
経常収入　計			122,792,802
Ⅱ経常費用			
1．事業費			
期首棚卸高	34,607		
期首商品棚卸高 計	34,607		
事業　支出	59,078,452		
給料　手当(事業)	35,970,409		
減価償却費(事業)	1,301,249		
当期事業費 計	96,350,110		
合　計	96,384,717		
期末棚卸高	△ 30,614		
期末商品棚卸高 計	△ 30,614		
事業費　計		96,354,103	
2．管理費			
研　修　費	34,161		
給料　手当	12,112,165		
法定福利費	3,395,559		
福利厚生費	250,970		
通　信　費	393,901		
水道光熱費	167,631		
旅費交通費	55,952		
広告宣伝費	514,815		
接待交際費	54,456		
会　議　費	111,957		
事務用消耗品費	285,418		
新聞図書費	5,095		
地代　家賃	600,000		
車両燃料費	121,285		
保　険　料	74,600		
租税　公課	36,908		
諸　会　費	164,598		
慶　弔　費	35,200		
リース　料	761,956		
支払手数料	400		
管理　諸費	795,312		
減価償却費	123,100		
雑　　費	500,000		
管理費　計		20,595,439	
経常費用計			116,949,542
税引前当期正味財産増加額			5,843,260
法人税等			629,600
当期正味財産増減額			5,213,660
前期繰越正味財産額			6,223,064
次期繰越正味財産額			11,436,724

特定非営利活動に係る事業会計貸借対照表

平成31年 3月31日現在

特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート　　（単位：円）

科目	金額		
Ⅰ資産の部			
１．流動資産			
（現金預金）			
現　　金	885,600		
普通　預金	18,451,937		
現金・預金 計	19,337,537		
（売上債権）			
売　掛　金	11,033,263		
売上債権 計	11,033,263		
（棚卸資産）			
棚卸　資産	30,614		
棚卸資産　計	30,614		
（その他流動資産）			
前　渡　金	300		
立　替　金	69,285		
その他流動資産　計	69,585		
流動資産合計		30,470,999	
２．固定資産			
（有形固定資産）			
建物附属設備	1,968,084		
什器　備品	365,753		
有形固定資産　計	2,333,837		
固定資産合計		2,333,837	
資産の部　合計			32,804,836
Ⅱ負債の部			
１．流動負債			
未　払　金	12,755,649		
前　受　金	33,200		
短期借入金	4,392,500		
預　り　金	775,163		
未払法人税等	629,600		
未払消費税	2,782,000		
流動負債　計		21,368,112	
負債の部　合計			21,368,112
Ⅲ正味財産の部			
前期繰越正味財産		6,223,064	
当期正味財産増減額		5,213,660	
正味財産の部　合計			11,436,724
負債及び正味財産　合計			32,804,836

特定非営利活動に係る事業会計財産目録

平成31年 3月31日 現在

特定非営利活動法人姫路コンベンションサポート　（単位：円）

《資産の部》

【流動資産】		
（現金・預金）		
現　　金	885,600	
普通　預金	18,451,937	
現金・預金 計	19,337,537	
（売上債権）		
売　掛　金	11,033,263	
宍粟市委託費	(1,500,000)	
NTTファシリティズ	(5,837,246)	
日本遺産銀の馬車道推進協議会	(3,432,370)	
神姫バスツアーズ	(105,000)	
わかば保育園	(53,244)	
東芝ツーリスト	(38,870)	
ハイミーカフェ	(20,608)	
バルニバービ	(18,985)	
小川農園	(14,940)	
ネスレ姫路工場	(12,000)	
売上債権 計	11,033,263	
（棚卸資産）		
棚卸　資産	30,614	
棚卸資産　計	30,614	
（その他流動資産）		
前　渡　金	300	
生涯学習サポートひょうご	(300)	
立　替　金	69,285	
労働保険料のうち従業員負担分	(69,285)	
その他流動資産　計	69,585	
流動資産合計		30,470,999
【固定資産】		
（有形固定資産）		
建物附属設備	1,968,084	
きてーな宍粟内装工事	(264,122)	
電博堂　間仕切り	(650,715)	
電博堂　天井ルーバー	(605,870)	
電博堂　ダウンライト	(447,377)	
什器　備品	365,753	
きてーな宍粟レジシステム	(216,468)	
きてーな宍粟冷蔵ショーケース	(149,285)	
有形固定資産　計	2,333,837	
固定資産合計		2,333,837
資産の部　合計		32,804,836

《負債の部》

【流動負債】		
未　払　金	12,755,649	
宍粟市PR館	(6,303,657)	
神姫バスツアーズ	(1,109,020)	
3月給与	(4,427,254)	
決算賞与	(365,000)	
その他	(550,718)	
前　受　金	33,200	
H31年度分会費	(25,200)	
その他	(8,000)	
短期借入金	4,392,500	
預　り　金	775,163	
源泉所得税	(158,740)	
住　民　税	(46,100)	
社会保険料	(488,766)	
雇用保険料	(70,541)	
その他	(11,016)	
未払法人税等	629,600	
未払消費税	2,782,000	
流動負債　計		21,368,112
負債の部　合計		21,368,112
正味財産		11,436,724

財務諸表の注記

1．重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO 法人会計基準(2010 年 7 月 20 日 NPO 法人会計基準協議会)によっています。

同基準では、特定非営利活動促進法第 28 条第 1 項の収支計算書を活動計算書と呼んでいます。

（1）固定資産の減価償却の方法

有形固定資産は、法人税法の規定に基づいて以下の方法で償却をしています。

建物附属設備・・・定額法

什器備品・・・定率法

（2）たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品・・・最終仕入原価法

（3）消費税等の会計処理

消費税は税抜方式によっています。

2．事業費の内訳

事業別損益の区分は以下の通りです。

（単位:円）

科目	事業部門	管理部門	合計
Ⅰ 経常収益			
事業収入	120,605,800		120,605,800
会員会費収入		91,500	91,500
補助金収入		2,084,000	2,084,000
受取利息収入	82		82
雑収入	11,420		11,420
経常収益計	120,617,302	2,175,500	122,792,802
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
期首棚卸	34,607		34,607
給料手当	35,970,409		35,970,409
減価償却費	1,301,249		1,301,249
その他経費	58,459,668	618,784	59,078,452
期末棚卸	△ 30,614		△ 30,614
事業費計	95,735,319	618,784	96,354,103
2. 管理費			
(1)人件費			
給料手当	11,897,575	214,590	12,112,165
法定福利費	3,335,400	60,159	3,395,559
福利厚生費	246,523	4,447	250,970
人件費計	15,479,498	279,196	15,758,694

(2)その他経費			
水道光熱費	164,661	2,970	167,631
旅費交通費	54,960	992	55,952
通信費	386,922	6,979	393,901
広告費	505,694	9,121	514,815
研修費	33,555	606	34,161
交際費	53,491	965	54,456
会議費	109,973	1,984	111,957
備品消耗品費	280,361	5,057	285,418
新聞図書費	5,004	91	5,095
リース料	748,456	13,500	761,956
地代家賃	589,369	10,631	600,000
車両燃料費	119,136	2,149	121,285
保険料	73,278	1,322	74,600
租税公課	36,254	654	36,908
諸会費	161,681	2,917	164,598
慶弔費	34,576	624	35,200
支払手数料	392	8	400
減価償却費	120,919	2,181	123,100
管理諸費	471,704	323,608	795,312
雑費	491,141	8,859	500,000
その他経費計	4,441,527	395,218	4,836,745
管理費計	19,921,025	674,414	20,595,439
税引前当期正味財産増減額	4,960,958	882,302	5,843,260
法人税等	629,600		629,600
当期正味財産増減額	4,331,358	882,302	5,213,660

3．固定資産の増減内訳

(単位:円)

科目	期首取得価額	取得	減少	期末取得価額	減価償却累計額	期末帳簿価額
有形固定資産						
建物附属設備	3,173,591	0	0	5,078,060	△3,109,976	1,968,084
什器備品	584,595	0	0	1,168,778	△803,025	365,753
合計	3,758,186	0	0	6,246,838	△3,913,001	2,333,837

4．借入金の増減内訳

(単位:円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	期末残高
短期借入金	4,692,500	0	300,000	4,392,500

特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート
事業報告書

平成30年度 2018-19

＼ありがとう！／

10年間続いた銀の馬車道劇団

30年1月に開催された人情喜劇「銀の馬車道2話」市川町公演は、500名の来場者となりました。

続いて8月19日に、姫路市市民会館で実施された「県政150周年記念 人情喜劇日本遺産『銀の馬車道・鉱石の道』」では、岸田敏志さんをお迎えし、新しい脚本・演出で公演を行いました。

ときは、明治時代はじめ。生野を中心に、銅を産出していた明延、自然金の中瀬と、鉱石でにぎわう沿線の村々は、銀の馬車道が開通してから活気にあふれています。今日は年に一度の夏祭り。跡取り息子の壱太郎が、鉱山の勉強と称して家を飛び出してしまった郷宿「市川家」。主の市川嘉平は、後妻の市子に家を任せきりにし、そのため市子の悩みは尽きません。そこに盗人に入った佐平。市子と語るうちに、だんだんと心を開きます。

「鉱石の道」の歌と踊りを新しく作り、劇中で披露し、650名の観客を魅了しました。

人情喜劇 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」

日　　程　平成30年8月19日（日）
場　　所　姫路市市民会館大ホール
来場者数　650名
主　　催　銀の馬車道・鉱石の道推進協議会
出　　演　岸田敏志（歌手）、藤山扇治郎、澁谷天笑 ほか

ごあいさつ

さまざまなご意見もいただきましたが、これをもって、銀の馬車道劇団はいったんの区切りをつけました。決心した一番の理由は、銀の馬車道劇団の当初の目的が達成されたことにあります。「地域の人に、銀の馬車道の存在を知っていただくために、何をしたらいいか」と模索したのが10年前。自分たちのネットワークと、経済力を持ってできることが、演劇でした。松竹株式会社には、普通では考えられない協力をいただき、10年の長きに渡り続けることができました。

日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」となり、広く県外の方々に知っていただくというステージになり、10年という節目も迎えたことも、自分たちの立ち位置を考える機会となりました。

10年のあゆみ

第1回公演	平成19年10月	学校創立100周年記念事業 福崎町立田原小学校
第2回公演	平成19年12月	姫路キャスパホール
第3回公演	平成20年8月	地才地創シンポジウムin中播磨 神戸新聞社
第4回公演	平成21年1月	姫路市市民会館
第5回公演	平成21年5月	市川町文化センター
第6回公演	平成21年10月	福崎町文化センター
第7回公演	平成22年8月	姫路市市民会館
第8回公演	平成22年8月	神戸新聞社会賞受賞記念公演 姫路花の北市民広場
第9回公演	平成23年1月	福崎町文化センター
第10回公演	平成23年10月	市川町文化センター
第11回公演	平成25年3月	神河町グリンデルホール
第12回公演	平成26年9月	姫路花の北市民広場
第13回公演	平成27年7月	公演なし（新作制作期間）
第14回公演	平成28年9月	生野マインホール
第15回公演	平成30年1月	神河町グリンデルホール
		福崎町文化センター
		市川町文化センター
		10周年記念公演

さて、次は何をしようか。

アイデアは色々と浮かびます。県外の人に知っていただく取り組み。その一つとして、今年度3月24日（日）に初の「銀の馬車道サイクルトレイン」を実施しました。銀馬車沿線の方々とともに、広がりある活動をしたいと考えています。

※P12を参照

わたしたちは
姫路コンベンション
サポートです

平成30年度は、前ページの「銀の馬車道劇団」の集大成の年となりました。
10年続いた劇団に区切りをつけ、新しい関わり方を模索しています。
「銀の馬車道サイクリング」もその一つ。
遠くは大阪、宝塚からも参加いただき、銀の馬車道をスポーツを通じてPRできたのは
非常に新しい取り組みでした。
次は、平成が終わり、令和の年に。
次なる新しい期を、スタッフ一丸となって、まい進したいと思います。

■職員

事務局	玉田恵美　小酒井里佳　依田法子　真口知枝
広畑市民センター	原敏廣　渡瀬郁子　小谷由紀　菅原真弓
飾磨市民センター	室田憲二　元原純子　川治陽子　徳弘真実
東市民センター	北野弘司　岩西正昭　三好真奈美　吉田美紀
西市民センター	阿部眞　東山喜美子　玉越久美子　丸山由美子
灘市民センター	福本邦博　吉岡憲彰　小西洋子　岡田實
きてーな宍粟	大田寛子　竹村眞理　黒田恵美子　岡睦子　海野りか 山本法子　谷村嵯弥

■役員

理事長	玉田恵美
理事	岡本一　小川亮一　小川陽平　鎌谷正弘　佐賀とも子　藤原正彦
監事	赤西弘光　原昇平

Mission

私たちは
本気でまちをおもしろくしたい人を
全力サポートする
法人です。

こんなことできたら
絶対おもしろい！

もっと
こんなことしたい！

生まれ育ったふるさとや、住んでいる地域、身近なコミュニティなど、
「まち」のために何かしたい本気の想いを、全力でサポートします。

一人ひとりの想いがカタチになると、
めちゃくちゃおもしろい「まち」になる。

私たちは、兵庫県姫路市から、そんなおもしろい「まち」がつながり、
全国へ広がっていくことを目指しています。

姫路コンベンションサポートのクレド（信条）
～こんな働き方をしています～

1
全力サポートするために
だれにでもモテる人になる！

私たちは、相手の立場で考え、感謝の心で接し行動することで、地域の人にも仲間にも愛され、信頼される人になります。結果、様々な人たちとのネットワークができ、あらゆる情報を収集・共有していきます。

2
全力サポートするには
なにごとも挑戦し続ける！

私たちは、経験豊かで多様な個性を活かし、自律心と向上心を持って取り組みます。目の前にあるものをそれだけで終わらせず、＋αし続けるとこが姫路コンベンションサポートらしいサポートの形です。

3
全力サポートを目指して
とにかく仕事を楽しむ！

私たちは、ともに同じ汗をかき、役立てることを喜び、笑顔で「人」に向き合います。私たちが仕事を楽しむことは、本気で「まち」をおもしろくしたい人を全力サポートする第一歩です。

Work

私たちのしごと

「つなぐ」が「まち」をおもろしくする！

人・地域・情報をつなぐサポートをしています

地域をつなぐ

地域を1つにつなぐ。
地域と地域をつなぐ。
山間部と都市部をつなぐ。

地域内、地域間の連携、交流を後押しします

人をつなぐ

人と人をつなぐ。
人と場所をつなぐ。
人とアイデアをつなぐ。

ネットワークを活かし、人の可能性を広げます

情報をつなぐ

情報と情報をつなぐ。
情報と人をつなぐ。
情報と地域をつなぐ。

「まち」の様々な情報を集め、かけ合わせます

サービス

- 企画・立案
- 社会的企業運営アドバイス
- 各種団体事務局
- イベント企画・運営

プロジェクト

- コワーキングスペース電博堂の運営
- アンテナショップ電博堂の運営
- 発酵のまちづくりプロジェクト
- 姫路市施設指定管理運営業務
- 銀の馬車道劇団事務局
- 姫路畳座事務局

特定非営利活動法人姫路コンベンションサポートの歴史

平成12年4月	ひめじ良さ恋まつり実行委員会の立ち上げ
平成14年7月	特定非営利活動法人（NPO法人）化
平成14年7月	みつまつり（兵庫県揖保郡御津町）企画・運営サポート
平成15年4月28日	御幸通商店街に「電博堂」をオープン
平成17年10月	日本青年会議所全国大会姫路大会関連事業
平成18年8月	i-Podを使った外国人向け観光ガイドプロジェクトを開始
平成18年9月	のじぎく兵庫国体関連事業
平成18年11月10日	姫路城外国語ボランティア養成講座　第一期開催
平成19年8月1日	人情喜劇「銀の馬車道」劇団設立
平成19年10月31日	人情喜劇「銀の馬車道」福崎公演　福崎町立田原小学校
平成20年4月	姫路菓子博2008関連イベント
平成21年7月19日	銀の馬車道アンテナショップオープン
平成21年11月22日	地産地消の店「たまちゃん街の駅」（御幸通商店街）オープン
平成23年8月	福崎町制55周年人情喜劇「柳田國男と河童」（福崎町文化センター）
平成23年11月	B-1グランプリin姫路関連事業
平成24年4月1日	姫路市広畑市民センター、飾磨市民センター指定管理受託
平成25年3月31日	播磨国総社三ツ山大祭　運営
平成25年4月	元町週末マルシェ事業（神戸市）
平成25年11月	姫路市南町76番地に事務所移転
平成26年4月1日～	姫路市勤労市民会館指定管理受託
平成26年4月28日～	ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」オープン
平成26年5月11日	コワーキングスペース電博堂オープン
平成27年4月1日～	姫路市灘市民センター、西市民センター、東市民センター指定管理受託
平成28年7月	ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」リニューアルオープン
平成28年8月	アンテナショップ電博堂オープン
平成29年2月	小泉武夫講演会（宍粟市）
平成30年1月	我がまちの人情喜劇「銀の馬車道」演劇が生んだ地域のつながり　本出版
平成30年8月	人情喜劇 日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」上演（姫路市市民会館）
平成31年3月	銀の馬車道サイクルトレイン事業受託
平成31年3月	国際女性デーイベント「ハッピーウーマンフェスタはりま2019」事務局

事業報告①

01 人材育成に関わる事業

姫路コンベンションサポートでは、「まちを元気にする人をサポートする事業」を行っています。人材育成・サポートもその一つ。今年度は子どもたちと一緒に、まちづくりを考える事業を実施しました。

太市まちづくり事業

太市は、姫路市西北部に位置する小さな集落です。「たけのこ」で有名ですが、その担い手も減り、小学校は全校生徒80名弱と、これからますます過疎化が心配されています。この太市を、どのようなまちにしたいか、子どもたちとともに考える取り組みを2年間に渡り実施しました。今年は、「気球に乗って、空から太市のまちを見てみよう」がテーマ。まちを空から俯瞰することで、子どもたちに楽しい思い出を残すと同時に、後世に残したいものを改めて考える取り組みをしました。

わがまち太市の未来予想図Ⅱ
～空から見よう、わたしたちのまち～

協　力　播磨風船飛行隊、NPO法人生涯学習サポート兵庫
実　施　平成30年11月2日（金）事前ワークショップ
　　11月23日（金・祝）係留飛行体験
　　12月4日（火）振り返りワークショップ
場　所　姫路市立太市小学校

観光人材育成事業

通訳案内士によるガイド事業

今年度から始まった「KANSAI DISCOVER TOURS」。姫路城だけではなく、好古園や書写山などを、「通訳案内士」の資格を持ったプロのガイドが紹介する事業を開始しました。

加えて、関空や京都などから姫路やその周辺へ誘客する活動へと広がりを持たせたいと、有資格者を広く募集。18名のガイドに研修も行い、隠れた名所を掘り起こす事業にしました。

特にJTB姫路支店が主催となった「朝日の見える姫路城ツアー」は冬期限定でしたが、男山に上がり、姫路城と朝日を写真に撮るというもので、美しい姫路城に可能性を感じました。

今年度の実績は200名。告知不足や社内調整の仕方など、まだまだ改善点や課題も多く見受けられます。

西二階町商店街インバウンド事業

西二階町商店街は、姫路でも老舗店が並ぶ商店街です。結納、布団、着物、おもちゃなど、冠婚葬祭に関わる品揃えなら随一と言われています。最近では、飲食店も増えてきたことから、観光客にも広く紹介したいと、取り組んでいます。

今年度は、増加している外国人観光客に向けた情報発信をと、西二階町入口看板をはじめ、パンフレット制作、指差し英会話の作成などしました。

column　周辺地域との観光連携

コワーキングスペース電博堂も多くの方々にご利用いただきました。

たつの市、加古川市、相生市の体験型観光は、ポテンシャルが高く、東京や大阪、京都などといった混雑を避けたいという外国人観光客にとって、とてもおすすめのスポットが多いと感じます。一方で、トイレや駐車場不足、バスやタクシーなどの二次交通の難しさなど課題も多数見られます。あれも、これも見て欲しいという地元の強い思いもあり、観光客が「おなかいっぱい」と感じることも。時間に余裕を持ち、メニューも細分化するなど、ちょっとした工夫で大きな魅力発見になることでしょう。我々の経験から、提案ができればと思います。

事業報告②

02 情報発信に関わる事業

私たちの事業の中には「情報を集約し、つなげ、発信する」ということがあります。宍粟市をはじめとする周辺地域のPRも大切な事業です。

ふるさと宍粟PR館
きてーな宍粟
kite-na SHISO

宍粟PR館「きてーな宍粟」

神姫ビル1階に、宍粟市PR館「きてーな宍粟」をオープンしてから2年半。登録農家数は160件を超え、売上も昨年度の1.5倍となりました。特にお弁当やおむすびなどは人気商品。特別オーダーで、インドネシアからのお客様用にと、ハラル弁当（※）も作り、大好評でした。

今年度は、毎月1回「発酵教室」も実施。味噌づくりワークショップや、サラダのようなぬか漬けワークショップなどを開催し、宍粟市を「発酵のふるさと」としてPRしました。

※ハラル…増加する訪日外国人の中には、宗教上の理由やアレルギー、ベジタリアンなど様々な理由で、口にできない食材のある方が多くいらっしゃいます。中でもイスラム教徒は、戒律により、アルコールや豚肉などが食べられません。最近では日本でも「ハラル認証マーク」を付け、これらの方々が安心して食べられるようにされています。

宍粟市7月豪雨で募金活動

決して忘れてはならないのは、7月に宍粟市を襲った豪雨です。市内各地に多雨の被害が発生し、1名の尊い命を失いました。きてーな宍粟では、すぐに募金活動を実施し、20万円の寄付をさせていただきました。中には、開店前から募金だけのために店に立ち寄ってくださる方などもいらっしゃり、宍粟市を応援してくださるお客さまに、この店の存在意義なども感じることができました。

きてーな宍粟

姫路市西駅前町1

営業時間　10時から18時
（年末年始休業）

入荷日　月・火・木・金・土
（水・日曜・祝日は入荷なし）

アンテナショップ電博堂

姫路コンベンションサポートの登龍門である御幸通商店街の「アンテナショップ電博堂」。オープンして3年が経つと、稼働率は約80%となりました。毎週違う店がオープンするアンテナショップは、お客様にとっても出店者にとってもおもしろいと、口コミで広がっているようです。今年度は、姫路市商店街連合会青年部がイベントに合わせて出店。陶器市や元旦市など、大手前公園イベントとのコラボレーションが図れました。

アンテナショップ電博堂

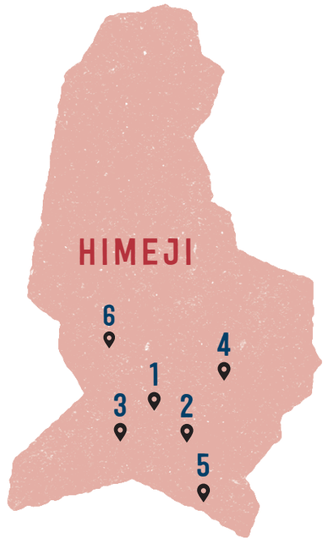
姫路市綿町104番地スクエアビル1階

利用料　30,000円（税別）
冬季（12月から2月）は
20,000円＋光熱費4,000円
（いずれも税別）

事業報告③

03 普及啓発事業

指定管理業務のほか、今年初の試みとして日本遺産「銀の馬車道・鉱石の道」として県外の方にも知っていただきたいと「銀の馬車道サイクルトレイン」を開催しました。



姫路市施設指定管理業務

姫路市内にある6つの施設の指定管理業務に携わっています。

今年度は広畑市民センターの大規模改修が実施されたため、かなりイレギュラーな運営となりました。また、勤労市民会館の更新の年ではありましたが、今回のプレゼン参加は見送ることとしました。

1 姫路市勤労市民会館

姫路市
中地354番地

17時から21時の夜間にも予約受付ができるとあって、利便性の高い館です。

2 姫路市飾磨市民センター

姫路市飾磨区玉地1丁目27

姫路駅南から車で10分の好位置にあり、多くの利用者でにぎわいます。

3 姫路市広畑市民センター

姫路市広畑区
正門通1丁目7番地3

平成30年度は7月から全面改修工事に入ります。

4 姫路市東市民センター

姫路市花田町
加納原田888番地1

毎月1回、ロビーで所長のギターライブを開催中！ぜひ一緒に歌いましょう。

5 姫路市灘市民センター

姫路市白浜町宇佐崎中
2丁目520番地

広い駐車場は利用者の方にも人気のセンターです。

6 姫路市西市民センター

姫路市飾西728番地5

こじんまりとしたアットホームなセンターは、ホットな話題の講座を不定期で実施しています。

column 指定管理を応募して

31年3月で勤労市民会館の指定管理が終わりました。5年間にわたりありがとうございました。更新のための公募に参加しなかったのには、さまざまな理由があります。一番は、人件費がアップする中で、指定管理料だけでは、スキルを積んだ職員たちの昇給などもままならないことがあげられました。

さまざまな施設が民間移管、指定管理制度の導入がされるようになりました。運営する側もよりよい市民サービスのために、経験からの学びを形にすることが必要であると感じています。

銀の馬車道サイクルトレイン

初の試みであるサイクルトレイン事業。一番の難問はJRとの調整でした。どこから自転車を乗せるのがいいのか、車両への積み込み方、自転車の固定の仕方など、すべてがゼロからの企画でした。「ゼロを1にする」のが当法人の強みです。播但線の管轄である豊岡車両基地へ行き、JRとの折衝や警察協議、地元おもてなしの依頼などを行い、40名のサイクリストと20名のスタッフとともに運営を行いました。

参加者が想定より少なかったことや、列車の運行時間に合わせると飾磨港への到着時間が遅くなってしまうことなど、課題は多数ありますが、だからこそ、次回の取り組みが楽しくなりそうです。

銀の馬車道サイクルトレイン

実　施　平成31年3月24日（日）10:00～17:00
場　所　香呂駅乗車、生野鉱山～飾磨津臨港公園
参加者　40名
　　スタッフ 20名

column　サイクルトレイン

「サイクルトレイン」とは、サイクル車を畳む（輪行する）ことなく、電車に積み込み、到着先でサイクリングを楽しむ電車です。特にしまなみ海道や、両国から乗り込み房総半島を巡る「B.B.BASE」（JR東日本）などが有名で、全国から多くのサイクリストが訪れ、「サイクルツーリズム」は新しい観光の形として注目されています。

サイクリングの魅力は、風を感じながら自分の好きなところに気ままに旅ができるところ。足の向くまま、気の向くままに、おいしいものを食べたり、買い物をしたり…。地域の魅力発信に、これからますます広がりを感じられる観光ツールです。

ローカル線に乗車するのも楽しみのひとつ！

平成30年度 収支決算書

自 平成30年4月1日 至 平成31年3月31日

（単位：円）

科目			金額		
Ⅰ経常収入		**事業　収入**			
		コンベンション開催に関わること	7,466,048		
		人材育成に関わること	1,376,182		
		情報発信に関わること	49,625,020		
		調査研究に関わること	0		
		普及啓発に関わること	62,138,550	120,605,800	120,605,800
		正会員会費収入	91,500		91,500
		補助金収入	2,084,000		2,084,000
		寄付金収入	0		0
		受取利息収入	82		82
		雑　収　入	11,420		11,420
		経常収入　計			122,792,802
Ⅱ経常費用	1. 事業費	期首棚卸高	34,607		
		期首商品棚卸高 計	34,607		
		事業　支出			
		コンベンション開催に関わること	4,411,559		
		人材育成に関わること	1,168,115		
		情報発信に関わること	41,813,190		
		調査研究に関わること	0		
		普及啓発に関わること	11,685,588	59,078,452	
		給料　手当（事業）	35,970,409		
		減価償却費（事業）	1,301,249		
		当期事業費 計	96,350,110		
		合　計	96,384,717		
		期末棚卸高	△ 34,614		
		期末商品棚卸高 計	△ 34,614		
		事業費　計		96,350,103	96,350,103
	2. 管理費	研　修　費	34,161		
		給料　手当	12,112,165		
		法定福利費	3,395,559		
		福利厚生費	250,970		
		通　信　費	393,901		
		水道光熱費	167,631		
		旅費交通費	55,952		
		広告宣伝費	514,815		
		接待交際費	54,456		
		会　議　費	111,957		
		事務用消耗品費	285,418		
		新聞図書費	5,095		
		印　刷　費	0		
		修　繕　費	0		
		地代 家賃	600,000		
		車両燃料費	121,285		
		保　険　料	74,600		
		租税　公課	36,908		
		諸　会　費	164,598		
		慶　弔　費	35,200		
		リース　料	761,956		
		支払手数料	400		
		管理　諸費	795,312		
		減価償却費	123,100		
		固定資産除却損	0		
		雑　費	500,000		
		管理費 計		20,595,439	
		経常費用計			116,945,542
		税引前当期正味財産増加額			5,847,260
		法人税等			629,600
		当期正味財産増減額			5,217,660
		前期繰越正味財産額			6,223,064
		次期繰越正味財産額			11,440,724

Next Stage

令和元年度事業計画

平成31年は、令和元年。新しい時代を迎え、新たな気持ちで業務に取り組みます。
取り組み予定の事業は以下の通りです。

●播磨発酵ロードプロジェクト

播磨国風土記によれば、宍粟市が日本酒発祥の地であるとされています。また、宍粟市千種町の「たたら」のおかげで、下流域の赤穂では塩づくりに適した平野が広がり、日本有数の塩の産地となりました。「塩」と「麹」の2つが大きく働き、醤油、そうめんなど播磨を代表する名産が生まれました。播磨地方に酒蔵は22あり、酒米である山田錦の産地でもあります。また、これらの産物を全国へ運ぶために水運業、海運業も発達し、独自の経済圏を築き上げました。私たちは、これらを「播磨発酵ロード」と名付け、全国に播磨のポテンシャルをPRすべく、様々な事業展開をする予定です。

●太市 まちづくり担い手事業

2年間に渡り、太市駅周辺の地区計画に取り組み、小学生たちとも未来に残したい地域遺産を作りだしてきました。ここに欠けていた人は、まちを何とかしたいと願う「大人」の存在です。そこで、30代から50代を中心とした担い手を発掘し、5年後に完成予定の太市駅前を考え、行動する組織を作ります。

●外国人観光客向け体験メニューの充実

去年から始めた「姫路城ガイドツアー」は完全プライベートメニュー化し、個人のニーズ合わせたものに変更します。姫路城、書写山円教寺だけではなく、羅漢の里（相生市）や龍野まちあるきなどのメニューも加えた展開を考えています。

●ふるさと宍粟PR館「きてーな宍粟」の移転

神姫ビルの耐震工事に伴い、きてーな宍粟の移転を計画中です。よって、当方の業務委託期間は9月30日までとなります。以降は、移転先をイーグレひめじとし、再び事業者の公募を行う予定です。

●指定管理施設の最終年

5年間の受託期間であった姫路市市民センター5館は、平成32年3月に期間満了となります。それに伴い、指定管理の次期公募があります。

自主事業

1 週替わりアンテナショップ電博堂の運営
2 コワーキングスペース電博堂の運営

委託事業

1 開港60年姫路港ふれあいフェスティバル
2 銀の馬車道サイクルトレイン（予定）
3 その他委託業務

令和元年度 収支予算書

自 平成31年4月1日　至 令和2年3月31日

（単位：円）

科　目	2019（平成31）当初予算	2019（平成30）決算	増　減
Ⅰ経常収入			
事業　収入	95,000,000	120,605,800	△ 25,605,800
正会員会費収入	90,000	91,500	△ 1,500
補助金収入	2,000,000	2,084,000	△ 84,000
寄付金収入	0	0	0
受取利息収入	200	82	118
雑　収　入	0	11,420	△ 11,420
経常収入　計	97,090,200	122,792,802	△ 25,702,602
Ⅱ経常費用			
1. 事業費			
期首棚卸高	30,614	34,607	△ 3,993
事業　支出	43,000,000	59,078,452	△ 16,078,452
給料　手当（事業）	30,000,000	35,970,409	△ 5,970,409
減価償却費他（事業）	1,300,000	1,301,249	△ 1,249
当期事業費計	74,300,000	96,350,110	△ 22,050,110
合　　計	74,330,614	96,384,717	△ 22,054,103
期末棚卸高	△ 35,000	△ 34,614	△ 386
事業費①　計	74,295,614	96,350,103	△ 22,054,489
2. 管理費			
研　修　費	50,000	34,161	15,839
給料　手当	13,000,000	12,112,165	887,835
法定福利費	3,000,000	3,395,559	△ 395,559
福利厚生費	200,000	250,970	△ 50,970
通　信　費	400,000	393,901	6,099
水道光熱費	170,000	167,631	2,369
旅費交通費	60,000	55,952	4,048
広告宣伝費	500,000	514,815	△ 14,815
接待交際費	50,000	54,456	△ 4,456
会　議　費	100,000	111,957	△ 11,957
事務用消耗品費	250,000	285,418	△ 35,418
新聞図書費	5,000	5,095	△ 95
印　刷　費	30,000	0	30,000
修　繕　費	0	0	0
地代　家賃	600,000	600,000	0
車両燃料費	100,000	121,285	△ 21,285
保　険　料	74,600	74,600	0
租税　公課	50,000	36,908	13,092
慶　弔　費	150,000	164,598	△ 14,598
諸　会　費	35,000	35,200	△ 200
リース　料	760,000	761,956	△ 1,956
支払手数料	2,000	400	1,600
管理　諸費	700,000	795,312	△ 95,312
減価償却費	120,000	123,100	△ 3,100
固定資産除却損	0	0	0
雑　　費	50,000	500,000	△ 450,000
管理費②　計	20,456,600	20,595,439	138,839
①+②	94,752,214	116,945,542	22,193,328

特定非営利活動法人
姫路コンベンションサポート

姫路市南町76 城陽ビル2階
TEL 079-286-8988
FAX 079-286-9009
info@denpakudo.jp
https://denpakudo.jp

発行：令和元年5月